

レジメン名

Nivolumab+CAPOX療法

出典

ATTRACTION-4/ONO-4538-37試験成績 小野
薬品工業社内資料

実施部署区分

☒入院☐外来☐処置

対象疾患

胃癌

☒進行・再発☐補助療法(術前・術後)☐☐

1コース期間

21日

総コース数

PDまで

(次のコースまでの標準期間)

投与減量の基準(CAPOX)

ANC	1000/mm ³ 未満	L-OHP・Cape共に1段階減量
PLT	5万/mm ³ 未満	
FN	Grade3以上	
末梢神経障害	Grade2以上(直前のサイクルから持続) Grade3以上(7日以上持続)	L-OHPを1段階減量
その他	Grade2以上の非血液毒性	(Grade1以下に改善後再開)Capeを1段階減量
	Grade3以上の非血液毒性	L-OHPを1段階減量
【減量の目安】L-OHP:130→100→85mg/m ² →中止 Cape:2000→1500→1000mg/m ² /日→中止		

投与中止の基準(CAPOX)

ANC	1500/mm ³ 未満	PLT	7.5万/mm ³ 未満
その他	その他の非血液毒性Grade2以上 L-OHP:末梢神経障害(直前のサイクルから持続)Grade3		

投与中止の基準(Nivolumab)

PLT	5万/mm ³ 未満(7日間を超える又は出血を伴う)		
T-bil	6mg/dLを超える	AST、ALT	400IU/Lを超える
AST、ALT	200IU/Lを超える(14日間を超える)		
T-bil	2.4mg/dLを超える	かつ	AST、ALT 120IU/Lを超える
その他	間質性肺疾患・眼障害(局所治療によりGrade1以下に回復しない場合)Grade2以上 気管支炎・下痢・大腸炎・神経毒性・過敏症反応・注入反応・ブドウ膜炎Grade3以上		

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度 (時間)	投与日(d1、d8等)
ニボルマブ(オブジーボ)	360mg/body	輸液100mL	30分	day1
オキサリプラチン(エルプラット)	130mg/m ²	5%TZ500mL	2時間	d1
カペシタビン	2000mg/m ² ※	朝、夕食後		d1タ-15朝
※ 体表面積ごとで投与量を決める 1.36m ² 未満:1200mg/回×1日2回 1.36m ² 以上~1.66m ² 未満:1500mg/回×1日2回 1.66m ² 以上~1.96m ² 未満:1800mg/回×1日2回 1.96m ² 以上:2100mg/回×1日2回				
※ 【CLcr30-50mL/minの場合、初回用量を以下へ減量】 75%用量(1段階減量)で開始				

1日投与順 (経時的にプレ Medikation・ ホスト Medikation、溶解液まで含む)
day1 ①生食50mL(ルート確保用) ②オブジーボ360mg/body+輸液100mL(30分)インラインフィルターを用いて投与 ③生食50mL(30分 経過観察) ④アロキシン0.75mg/バッグ+デキサート6.6mg(15分) ⑤エルプラット130mg/m ² +5%糖液500mL(2時間) ⑥生食50mL(フラッシュ用) day1タ-15朝 カペシタビン錠 2000mg/m ² ※ 分2で服用